

数理物質科学研究群 物理学学位プログラム 博士論文公开发表会（2024年度）

日時 場所	発表時間	ふりがな 氏名 (分野)	主査氏名 副査氏名	職名 職名	論文題目
2月10日(月) 自然D413	10:30 - 11:30	かんの さとし 菅野 聡 物理学 (素粒子理論)	○石橋 延幸 藏増 嘉伸 伊敷 吾郎 山崎 剛	教授 教授 准教授 准教授	Generalization of quantization and its application to matrix model for string theory (量子化の一般化と弦理論の行列模型への応用)
2月10日(月) 自然D413	13:30 - 14:30	さとう こうへい 佐藤 航平 物理学 (素粒子理論)	○藏増 嘉伸 石橋 延幸 伊敷 吾郎 山崎 剛	教授 教授 准教授 准教授	Mean-Square Charge Radius Calculation Without Fit Ansatz and Its Application to Large-Volume Lattice QCD Configuration at the Physical Point (フィット仮定を用いない平均二乗電荷半径の計算と物理点における大体積な格子QCD配位への応用)
2月12日(水) 自然B118	14:00 - 15:00	たかはし せいや 高橋 聖弥 物理学 (物性実験)	○守友 浩 西堀 英治 神田 晶申 岡田 晋	教授 教授 教授 教授	Ag Rattling structure determination in Ag-argyrodite from synchrotron powder Bragg and diffuse scattering. (放射光粉末ブラッグ散乱及び散漫散乱からのargyroditeにおけるAgのラットリング構造決定)
2月17日(月) 自然B118	17:30 - 18:30	やまもと たかし 山本 卓 物理学 (宇宙観測)	○大須賀 健 久野 成夫 橋本 拓也 徂徠 和夫 (北海道大学)	教授 教授 助教 教授	Quantitative Morphological Analysis of Molecular Gas, Star-Forming Regions, and Stellar Light in Nearby Disk Galaxies (近傍の円盤銀河における分子ガス、星形成領域、恒星光の定量的形態解析)
2月10日(月) 自然D413	14:45 - 15:45	ら しゃう 羅 梟 物理学 (素粒子理論)	○石橋 延幸 藏増 嘉伸 石塚 成人 山崎 剛	教授 教授 准教授 准教授	Tensor renormalization group approach to quantum field theories with continuous internal degree of freedom (連続内部自由度を持つ場の量子論へのテンソル繰り込み群によるアプローチ)

※上記各公开发表会のZoom、Teamsリンクなどの情報は、主査又は学務委員（岡田）（sokada@comas-tsukuba.jp）へお問い合わせ下さい。